

# 平成三年度 予算編成にあたって

町長 江原 清

いよいよ二十一世紀を間近に控え、国際化・情報化・高齢化・技術革新の伸展のなかで、新しい地方の時代を構築すべき、極めて重要な時期を迎えています。地方行政に対する町民皆様方の要請も複雑多様化し、質的にも大きく変容していますが、この増大する行政需要に的確に対応し、更に新しい視点に立った大胆な発想の転換をはかりながら、本町の特性を生かした自主的、主体的な地域づくりを推進し、地方自治を健全に発展させていくことが緊要な課題であ

ると痛感しています。その前途は多難なものがありませんが、躍進する日置町の創造をめざし、渾身の努力を傾注する決意です。平成三年度の予算編成にあたりましては、二十一世紀を展望した「はまゆう二〇〇〇ふるさとづくり計画」いわゆる本町の基本構想に基づき、「生活基盤及び福祉、健康、生活環境の整備充実」「産業経済の自立、活性化」「教育、文化、スポーツの振興」等を最重点として、さらに「漁火ゾーンの整備開発」「高齢者福祉対策」及び「若者の定住対策」等にも十分に意を払いながら、積極果敢に諸事業諸施策を展開していきたくと考えています。そして、早期に過疎地域からの脱却の足がかりをつかみ、来るべき二十一世紀への展望を切り開きたいと、ひたすら念じておるところです。

ご案内のように、引き続き多くの継続事業を抱えており、中でも県営狩音ダム建設事業の負担金をはじめ、各種投資的事業費の伸びに伴う財政負担の増高

等にも配慮し、新規事業は極力抑制していますが、あらたに本町北側一帯の漁火ゾーン内における泉源開発工事及び老人福祉施設、農村活性化交流施設等建設予定地の用地造成工事に着手することとし、また門前溜池の整備、総合運動公園の隣に「ふれあいの森」を造成するなど、二億三千三百万円の新規事業を計上しました。

また、本町のリゾート開発構想の基幹事業である漁火ラインの建設につきましても、本年度の採択着工に向けて、鋭意努力する所存です。

予算の総額は二十九億三千三百三十五万円で、前年度当初予算と比較して二・四％の伸びとなっております。近年になく伸率が鈍化していますが、これは昭和六十三年度から実施してきました一連の学校施設の整備が完了したことによるものです。

これら予算の執行にあたりましては、職員一丸となって創意工夫をこらし、英知を結集してゆたかさを実感できる暮らしの向上をめざして、奮勇の努力を傾注してまいりたいと決意をあらたにしているところです。

今後とも、町民皆様方のさらなるご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

## 特別会計予算

( )内は伸率

交通災害共済事業	553万8千円 ( 0.0%)
国民健康保険事業	3億2,480万円 (△ 6.7%)
簡易水道事業	7,342万円 ( 16.4%)
同和福祉援護資金貸付事業	222万4千円 (△ 4.7%)
同和对策貸付事業	288万7千円 (△ 10.8%)
老人保健事業	4億2,769万4千円 ( 2.6%)
合計	8億3,656万3千円 (△ 0.3%)

## 一般会計歳出性質別内訳

